

貞山運河「御舟入堀」プロジェクト 入会申込書

お申込日	年	月	日		
フリガナ					性別
名前					男・女
住所	〒	-			
連絡先	自宅電話				
	携帯電話				
	FAX				
メールアドレス	@				
職業・所属団体					

【個人情報のお取扱いについて】お預かりしました個人情報は、貞山運河「御舟入堀」プロジェクトの行なう事業の連絡にのみ使用致します。

申込用紙は郵送またはFAXにてご返送ください。→ **FAX 022-366-3331**

【貞山運河「御舟入堀」プロジェクト 会費 お振込のご案内】

年会費：5, 000円

振込先：ゆうちょ銀行 18150 - 38643411

※ ゆうちょ銀行以外の金融機関からお振込みの場合は、

ゆうちょ銀行 八一八(ハチイチハチ)支店 普通預金 3864341

テイザンウンガオフナイリポリプロジェクト

※お振込手数料は会員様ご負担にてお願いします。

【ご紹介のお願い】

ご友人や知人などで「この会について知りたい」「一度話を聞いてみたい」という方がいらっしゃいましたら、お気軽にご紹介ください。資料を送付させていただきます。

お名前	
ご住所	
連絡先	

【お問合せ】

貞山運河「御舟入堀」プロジェクト事務局

〒985-0016 宮城県塩釜市港町2-15-31(武田の笹かまぼこ内)

TEL 090-7664-6491(武田せつ子)

メールアドレス **teizan.unga@gmail.com**

〈事務局記入欄〉

会員No.	
ご紹介者	
備考	

貞山運河「御舟入堀」プロジェクト設立趣意書

【貞山運河・御舟入堀とは】

歴史的な土木遺産である貞山運河は、阿武隈川から旧北上川まで、総延長約 49km にわたり仙台湾沿岸を繋ぐ5つの運河の総称で、日本一の運河群として知られています。仙台藩祖伊達政宗の舟運による城下町仙台的建設を目的として建設が始まり、明治政府による東北開発の巨大プロジェクトである近代港湾・野蒜築港に関連した物流輸送のための運河が開削されました。そのうち御舟入堀は、塩釜港から七北田川河口の蒲生を結ぶ運河で、七北田川・舟曳堀を経由して城下町仙台的台所や経済を支えた当時の大動脈でありました。今日では貞山運河は治水・利水機能に加え、歴史、環境、景観等の魅力を有する土木遺産として、多くの方々に愛されています。



【宮城県の「貞山運河再生・復興ビジョン」】

宮城県土木部が策定した「貞山運河再生・復興ビジョン」では、次のことがうたわれています。

「歴史的な土木遺産である運河群を復興のシンボルとして位置付け、活力に満ちた沿岸地域の再生に活かすために、運河群が縦断する仙台湾沿岸地域の復興において目標とする姿や、それを実現するための仕組みについて示し、様々な主体が共通理解の下に連携し、宮城県が復興のシンボルと誇れる運河群として、再構築を図ることを策定の趣旨としています(宮城県公式ホームページより)」

＜上記の県の方針を踏まえ、次代を見据えながら関係各方面と連携し、
「民間の私たちだからこそできる活動」で、共感の輪を広げていく方針です＞

▼目的

伊達政宗公の諱【^{いみな}法名：貞山】を冠された歴史的土木遺産である「日本一の貞山運河」を、復興のシンボルとして歴史的意義などを広く周知していくとともに、御舟入堀を中核に新たな観光資源として地域振興につなげ、次代へと伝えていきます。

▼予想される効果

- I) 仙台湾沿岸部における伊達政宗公をはじめとする新たなストーリーを描くことで、多賀城・七ヶ浜・塩竈・利府・松島エリアとの連動性が強化され、新たな観光ルートの開発につながります。
- II) 貞山運河の醸し出す「水辺のロマン」が、奥州一宮鹽竈神社、多賀城跡、七ヶ浜から松島に至る日本三景松島（国の特別名勝松島）などへの旅情をかき立て、仙塩エリアのポジショニングが高まり、注目を集めます。
- III) 歴史的土木遺産の存在を世界に広く周知し、宮城の観光のグローバル化を図ります。それにもなう交流人口の増大により、貞山運河沿いの市町村をはじめとする地域経済への貢献ができます。
- IV) 歴史遺産が再評価されることで、次代を担う子供たちへの歴史教育の＜生きた教材＞として活用でき、郷土愛の醸成にも繋がります。
- V) 「地域ブランド化」により、新たな事業の創出による雇用促進が期待され、若者の人口流出の歯止めとなります。
- VI) 最終目標として全ての運河群との連動を図ることで、沿線の方々と共に「運河を核としたまちづくり」構想へと繋げていきます。

以上